

常警每日新聞

刊日

定額 一月五拾圓 半年五拾圓 一年一拾圓
廣告料五號十二字第一行五拾圓
日曜祭日の日休刊
發行所 常警每日新聞社
印刷所 常警每日新聞社
電話 六三〇
社址 東京市神田區



新歳を迎ふ

歳曆茲に更りて、昭和丙子新歳の曙光に浴す。宇宙の萬象、悉く新色に蘇れる天地の瑞祥を俯仰して、われ等は、先づ度みて彌榮えに榮えます。皇室の御繁榮を壽ぎまつり、次いで國家の平安、國民の康福と祈らざるを得ぬ。

翻つて惟ふに、國際危局の非常時と稱せられ、國民緊度の目標とされた三五十一個年が、謂ふ所案するよりは産むか易く、國を擧げ、焦土に委するも辭せぬ覺悟も、その要なくして経過した國民の安堵が、今尙非常時と連續するべき三六年に於る國運の陽史消長に、如何なる影響を齎すべきかは、われ等の私に憂懼措く能はぬ處である。

國際聯盟脱退から生ずる孤立的危機、ブロッツ經濟の世界的對立から來る不安、滿洲國の獨立に基く東洋平和の動搖、等、等は案外われ等の危懼、或程度まで杞憂ならしめたことを事實とはするが然しながら、軍縮の前途は尙多人の荆棘に閉され、關稅障壁の撤廢は難中の難、更に支那の對外政策豹變と、その經濟的破局、甚く歐洲勢力の伸張より東洋平和の基礎に如何なる龜裂を生ぜしむるに至るや、測るべからざる状態にあることは、世人の周知處の如くである。

然るに我國民緊度の弛緩は、最近頗る顯著なるものがあり、非常時必ずしも非常時ならずとして、甚だしく反省を缺ける放縱安逸の風、上下に瀾蔓してゐるは、最も戒むべき國民的大病弊でなければならぬ。

われ等は常に、外に警戒すると同時に、内に省察することを忘れてはならぬ。殊に連續的非常時の歳端に立つて、希望に輝き、幸福に映ゆるわれ等の前途を祝福するに方り、特に一層國民の緊張と覺悟と發奮とを要望せざるを得ぬ。

改曆劈頭、われ等は國民的內省の實踐躬行により國礎一層の鞏固と、國運一段の飛躍とを希求し熱望して、茲に謹で新歳恭慶の辭を述ぶるものである。

常警毎日新聞社

同人



く輝に嶽富光麗

多年待望の

都市施設實現

市制を前提として 懸案を一舉總決算

平町長 青沼鋒太郎氏談

坤輿一轉して萬象新に皇紀貳千五百九十六年の新春を迎へ緑竹千門を彩り旭旗萬戸に翻り瑞雲天に靄さ洋々たる和氣地に満つるこの聖代に遭遇し雨露の仁徳に茲に恭しく聖壽無窮萬

刺戟を與へ國內的恐慌對策時局匡救事業に依り地方産業の自力更生を促しました。が、由來天恵最も薄き我東北地方は打續く冷害に依る凶作のため農村の疲弊困憊想像の外でありまして其結果購買力の減少は延し市外地中小商工業者の營業不振を見るは蓋し當然の歸結であります。而して東北振興の問題は多年其解決を叫ばれつゝありましたが漸く東北振興調査會を設置せられ計畫の實現を見るに至るべく我々は一日も速かに其實行を待望す。平町は愛町精

神に燃ゆる町民各位後援の下に打續く財界の不況に處し克く協力一致共存共榮の實を擧げ各般の施設經營着々進展を見るに至りまして納稅義務觀念の發達、警備衛生思想の普及向上年毎に良好なるを認むるが如き寔に悦ぶべき現象であります。又土木交通の事業は第六號國道五町目 紺屋町の舗装を終り夏井川改修工事も亦進捗いたし既に鎌田町を終り上流半窪村地内に及び更に之れが付帯事業たる新川古川の大改修は多年の懸案でありましたが、平三町民の熱烈なる希望と内務省及縣當局の配慮に依り之が工事豫算査定に難關たる大藏省を通過し着工の實現を見るも近きにあらんとし、其他町道の改修補修及極要町道の舗装排水の計畫等も受益者側と協調して夫々進捗しつつあります。更に都市計畫事業も其筋の指示に因り着々調査進行中でありまして都市計畫福島地方委員會議の議を経て内務大臣より道路網の指定を告示せらるゝも遠からざることと存します。

又吾平町も市制施行を目標として之が調査機關を設け各委員を擧げ先進都市視察調査を完了し設備内容を於て他に遜色なしとの報告を受けましたことは市制施行計畫上大に意を強ふする所でありませぬ。然るに市は人口三萬以上を必要條件としておりますが現在平町は其數に達せざるため隣接村に對し合併交渉を進め、居りますから暫らく此の経過を待つことと程度であります。町民の自覺と調査機關の活動とに依り具體的運動を繼續いたし所期の目的を達するの覺悟であります。教育に關する設備は前年來懸案たる

第三小學校敷地擴張及第四小學校、町營グラウンドの敷地買収も地主諸君の公共的誠意に依り順調に進捗し公會堂の建築も亦昭和十一年度に實現を見るに至らんとし、又商業學校は年々を經るに從ひ入學志望者の數を増し隆昌の機運に向ひつゝあるは誠し悦に堪へざる次第であります。然るに現在の校舍は建築既に三十有餘年を経過し改築の時機に迫り補強工事を施すも耐久の見込なきを以て町會議員より委員を擧げて之が調査進行中でありませぬ。又多額の成案を得るも遠きにあらざるへしと信じます。又多額の成案を得るも遠きにあらざるへしと信じます。又多額の成案を得るも遠きにあらざるへしと信じます。

乘降客に於ける昭和十年一月より十一月平驛現在は一七五、八二〇名で郡山、福島、若松の三大都市のトップを切り殊に若橋市の如きは八四三、五六一人と引離して斷然物運の町勢發展をシンボルとして居り、貨物輸入に於ても一六七、一四九噸で第二位の郡山を四四、〇〇噸引離し福島、若松は問題ならず輸出に於ては、今度の躍進を期待して好い譯だ。何せ昨年中の平町は濱大漁と軍需インフレに依る炭礦最近好況に刺戟され、影響に依る農村の活況、影響

新春を壽ぐ年賀狀は十二月廿日から廿九日迄に平郵便局の引受數が三十八萬七千五百通で昨年の三十五萬七千八百八通より二萬九千二百九十七通(八分八厘)の増加を示し到着數も二十一萬七千六百九十三通で昨年の廿萬九千九百三十三通より一萬七千七百五十七通(七分八厘)増、中繼數は六十六萬七千五百通で昨年の五十六萬三千三百七十七通より

景氣は

平局から

大氾濫の年賀狀

九萬六千六百九十八通(一割七分二厘)の大激増振り局内は處狭き迄に年賀の氾濫を見せし殊に本年の年賀狀は私製端書が斷然多い處から同局の一錢五厘切手賣上も買に六十四萬七千四百四十四枚、昨年の四十九萬六千三百九十枚より十九萬七百五十四枚(四割一分)を大激増し景氣は平局からの觀を呈して居る

物運の躍進振り

大平町の支關を覗く

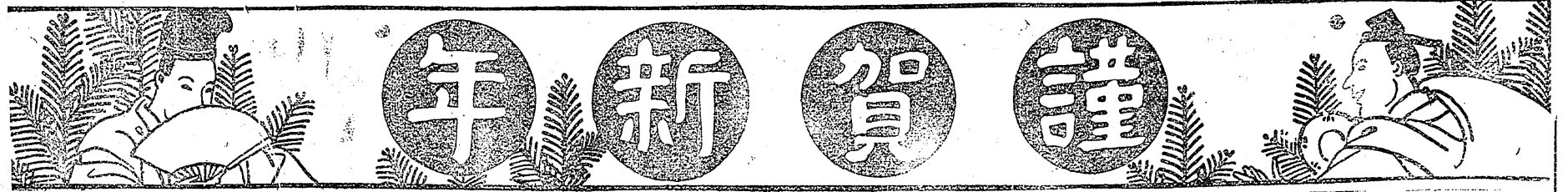
されて經濟好轉を見て居り今年の更に飛躍こそ望まれる關心事であらう。

謹賀新年

甚だ尹縮ながら繁忙中に付回禮を略します
昭和十一年一月一日

社長 川崎文治

- 橋本 武雄 小野 武雄 大野 武雄 渡邊 喜三郎 金成 定雄 片奇 榮一 勝村 泰雄 川崎 泰雄 梶原 重太郎 高野 收太郎 根本 己利 中本 清次 坂本 忠治 篠山 武治



●**磐城炭礦株式會社**
所長 菅原 萬次郎

入山探炭株式會社
所長 吉田 宗雄

古河炭好間鑛業所
所長 下野 十朗

小田炭礦株式會社
所長 萩原 申八

片倉製絲株式會社
日本ゼネラルモーターズ株式會社
シボレーポンテアク販賣店

株式會社**福島モーター商會**
出張所
本社 福島市 支店 山形市
平町三丁目電話一八七番

東部電力株式會社
平營業所

日立電力株式會社
丹野英治
社宅 平町字手摺町
電話 四九五番

平製氷株式會社
社長 木村 清治
專務取締役 松本 一郎
電話 二二八三一六番

平電力株式會社
平驛前電話二九七番

平運輸株式會社

磐城建物株式會社

湯本信用無盡株式會社
湯本町 電話四七番

公認青果市場
平青果株式會社
電話 三六九番

合資會社**平電氣鑄鋼所**
電話 二六番

合資會社**平製作所**
電話 四一 番

田邊商店
平驛前通 電話二九四番

田邊製作所
平白銀町

小田吉次

金成金三
植田町

井坂醫院
井坂 久吉
平田町 電話五五九番

醫學博士**五十嵐雄二**

市原醫院
市原 卯太郎
市原 三三男
平田町 電話一一四番

磐城共濟病院

原齒科醫院
原 精一
平土橋 電話三一 番

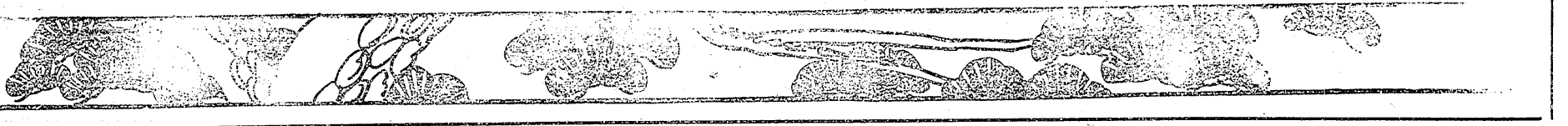
上田外科醫院
上田 耕作
平南町 電話二二九番

木村外科醫院
木村 淳
平町六丁目電話三〇九番

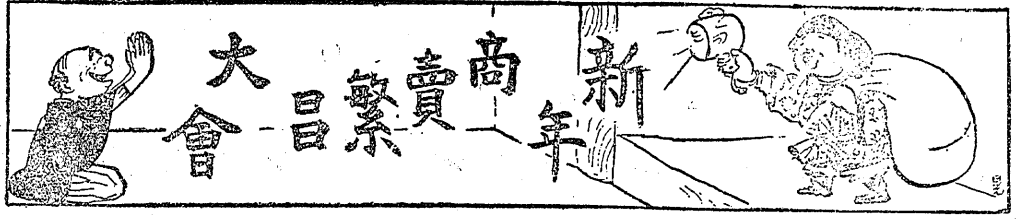
諸橋外科醫院
諸橋 鐵彌
平新川町電話四六四番

渡邊醫院
渡邊 久
平町ネヅミ坂電一六一番

平看護婦會
會長 清野 キヨ
平南町 電話三〇七番



謹賀新年



金の小咄

友人「君、魔術で半分金のかよるもんだね」
デパートの「魔術師」ツン、これで一頁大へんな金だからね」
友人「いーんや、家内の嫁がこれを見るたびにせびるんで大嫌なんだよ」

羨望は争はれぬもの

おそばやさん夫婦が百貨店からお歸り

動物 教へ歌

賢きの口が心に響かされて
狼は狼にかゝるなりけり
獅子をば己が鳴らして
おきながら驚きて立つむら
雀かな
さかひよに道道を告ぐ
とやとつこかうく
〜といふ
はりつたふ良の道も道な
れどまことの道ぞ人の行
く道
學ぶべし山嶽さへも教ふ
れば立ち舞ふわがはなす
ものぞかし

金の小咄 (続)

友人「君、魔術で半分金のかよるもんだね」
デパートの「魔術師」ツン、これで一頁大へんな金だからね」
友人「いーんや、家内の嫁がこれを見るたびにせびるんで大嫌なんだよ」

漫才 バタヤ

「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」

動物 教へ歌 (続)

賢きの口が心に響かされて
狼は狼にかゝるなりけり
獅子をば己が鳴らして
おきながら驚きて立つむら
雀かな
さかひよに道道を告ぐ
とやとつこかうく
〜といふ
はりつたふ良の道も道な
れどまことの道ぞ人の行
く道
學ぶべし山嶽さへも教ふ
れば立ち舞ふわがはなす
ものぞかし

金の小咄 (続)

友人「君、魔術で半分金のかよるもんだね」
デパートの「魔術師」ツン、これで一頁大へんな金だからね」
友人「いーんや、家内の嫁がこれを見るたびにせびるんで大嫌なんだよ」

漫才 バタヤ (続)

「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」
「おつたよ、いよ」

動物 教へ歌 (続)

賢きの口が心に響かされて
狼は狼にかゝるなりけり
獅子をば己が鳴らして
おきながら驚きて立つむら
雀かな
さかひよに道道を告ぐ
とやとつこかうく
〜といふ
はりつたふ良の道も道な
れどまことの道ぞ人の行
く道
學ぶべし山嶽さへも教ふ
れば立ち舞ふわがはなす
ものぞかし

金に縁ある

川柳集
「あ、御郎は大乗金のは
いる好運が向いていま
す。さうして病氣はチツ
とも貴郎の宅には寄りつ
きません」

珍利殖問答

「問」私は天下のお金を
みんな集めてしまひたい
と思ふのですが、一體ど
うしたらいいですか？
「答」いや、それは至極
難い事や、世界中の人間
をみんな殺してしまふこ
とぢや。

動物 教へ歌 (続)

賢きの口が心に響かされて
狼は狼にかゝるなりけり
獅子をば己が鳴らして
おきながら驚きて立つむら
雀かな
さかひよに道道を告ぐ
とやとつこかうく
〜といふ
はりつたふ良の道も道な
れどまことの道ぞ人の行
く道
學ぶべし山嶽さへも教ふ
れば立ち舞ふわがはなす
ものぞかし

山崎合名會社

釜屋商店

新古賣買 山田麻袋商店
電話 平一 九二番

西村屋藥舖

平町二丁目
電話 二一三番

山田文一商店

平町仲町通り
電話 二六二番

大屋商店

平町二丁目
電話 一三番
振替東京一九〇三番
明治生命保険平代理店
明治火災保険平代理店

志賀盛榮

平町四丁目
電話 二一三番

旭屋一六銀行

平町三丁目電話四二五番

小野伊佐治商店

電話 三四〇、三四三番

昭和タクシ

電話 六八五番

平消防組																																													
組頭	井上茂	副組頭	關内正一	庶務部長	鈴木長三	會計部長	堀江正茂	第一部長	酒井清	第二部長	岡田政次郎	第三部長	鈴木彌太郎	會計小頭	三井富吉	小頭	高根澤長太郎	同	佐川三良	同	田中宣治	同	涌井兼作	同	根本幸次郎	同	阿部治作	同	金成泉一	同	織田萬次郎	同	菊田萬吉	同	阿部正章	同	片寄正壽	同	小菅榮之助	同	山野邊陽	同	山野壽雄	同	水野壽雄

謹賀新年

福壽軒 平田町 電話七〇番	洋食 バツカス 平銀座通 電話七〇二番	平會館 平三丁目 電話六二四番	小瀧鑛泉 瀧乃湯 石城郡玉川村 電話一〇三番	御料理 君の家 平田町 電話三八二番	御料理 八千代 平田町 電話三七五番	割烹 とさゝ 電話三二六番	御料理鳥 石川亭 平田町 電話四三番	割烹 末廣 平田町 電話四二二番	御旅館 住吉屋本店 平紺屋町 電話一五九番	割烹 谷口樓
ハシモトヤ 平田町 電話一四番	糸店 平田町 電話一四番	阿部薬舗 平田町 電話四〇六番	和洋菓子問屋 高岡屋 平田町 電話四〇六番	福山靴店 平田町二丁目 電話一三一番	いづみや 平田町 電話一三一番	岡田牛乳舎 平田町鎌田町 電話二五一番	衛生牛乳 關内半平 平田町長橋町 電話一六〇番	洋酒罐詰海産物商 醫油味噌醸造元 關内半平 平田町長橋町 電話一六〇番	支那そばと壽し 富士食堂 電話六七七番	鶴屋商店 平田町四丁目 電話一四〇番
丸屋タビ 平田町一丁目	洋品店 平田町一丁目	今關與三郎 平長橋町 電話五四八番	海産物乾物商 仙臺屋號 今關與三郎 平長橋町 電話五四八番	小野屋薬店 平田町四丁目 電話一四四番	百澤商店 平田町四丁目 電話一四四番	合名會社 白萩酒店 平田町 電話四四三番	石山忠三 平田町木町電一三七 川崎市堤根一	特許石綿ムシカマド製作所 石山忠三 平田町木町電一三七 川崎市堤根一	關内藥局 藥劑士 關内榮助 平田町四丁目 電話四〇番	福島縣平田町四丁目 マルト千代田書店 電話二三四番 マルト毛運動具店 電話一二四番 マルト毛食 堂 電話一二三番
野村生命保險株式會社 福島健之 平田町長橋町	吉村綿店 平田町 電話二五七番	常陸セメント海岸線特約店 住吉屋 酒井 伴城 平田町電六六一番	一德會社 平田町十五丁目角	早川材木店 平田町古鍛冶町 電話五八四番	坂本紙店 平田町一丁目 電話一八番	丸ほん商店 營業所電話三五九 製作所電話一八二	平三丁目 丸ほん商店 營業所電話三五九 製作所電話一八二	御扇子とカレンダー 山久團扇店 平紺屋町	平銃砲 火薬店 平一丁目 電話四四一番	平銃砲 火薬店 平一丁目 電話四四一番
荷札、封筒、紙袋、製造販賣 小谷製袋店 平田町南町七六 電話一四七番	鮮魚問屋 穴戸屋 平田町四丁目 電話二一五番	會川延太郎 平久保町 電話三六七番	川角兼吉 平田町長橋町	石川義助 平田町堂ノ前	小野勝康 平田町南町	明治生命保險株式會社 小野勝康 平田町南町	大村一郎 平田町三丁目 電話一七五番	華教授 横山美聲 平南町通り	横山美聲 平南町通り	横山美聲 平南町通り



瓦解の謎

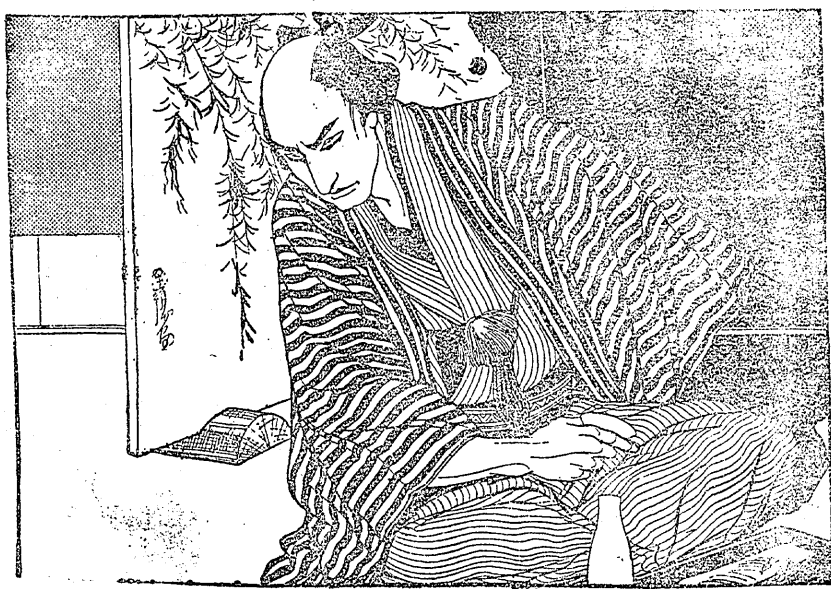
（脚上映上）
（脚上映上）
悟道軒圓玉（作）
丸尾至陽（畫）

一五 三河屋庄七

三島三郎は増上寺の李林にて吉野政助と別れて芝の神明神社の前まで来たこの邊でもヒユースケンの殺された噂をしてゐる人々に怪しまれては一大事と、注意してこゝを打ち過ぎ芝口二丁目まで来るとトツブリ日が暮れた、新橋を渡り尾張町を過ぎ京橋まで来た。こゝに松田といふ小料理店がある、安いのが流行しました、明治の二十年頃までありましたが大層お客のあつた店です。その松田の行燈の灯りで自分の姿を見たが血も浴びて居らぬ、脇差を腰にして表紋をつくらひ形を整へズいとこの松田へ入つた

○「入らつしやいまし」
三「札をもちうかな」
○「へエ、お待ちくださいまし」
下足札を渡した、三郎は幅の廣い梯子を上ると二階には大部客もある、小料理屋のことゝて入れ込みです表の方へ座つた三郎
三「姐さん三ッ物でお酒を持つて来ておくれ」
女「長まりました」
三「大層今日は繁昌するねお前のところは、気が新

しく、それに値が安いからな」
女「有難うございます、お蔭様で繁昌して居ります」
三「これはお前にやる」と二朱を出した、女はそれを貰つて大層喜んだ、二朱と



いへば今の十二錢五厘、しかしこの松田で酒を飲み食事をすればとて勘定は二朱か三朱その客が二朱くれるは珍らしい、女は二朱を手の平に乗せて見てゐたが、今度はそれを前窓にカチン

カチンとあてた、これは股金ではないかと思つた、めするとの時上つて来た三人人づれの客、何れも木綿の着物に着てゐるがキリリとしてゐます、職人のやうな商人のやうな人物
○「オイおたけさん、何をみてゐるんだえ」と云はれて女中が
女「これは親分でございます、お蔭様で繁昌して居ります」
○「さうか、ウーム二朱くれたのか、大した客が来たな大一座の客だな」
女「イエエお一人様でございます

ます」
三「それは氣前の宜い客だウムあの表にある客が、商人らしいぢやアねえか、横濱で儲けたな、濱で商ひする人は華美な金をつかうよ相手は異人だらたんまり

儲かることがある」
云ひながら三郎をデロリと見て今度その眼をそこに居る商人に萬遍なく注ぎ、どつこいしよと壁をうしろにして陣取つた三人
○「お竹さん飲めさうなものを出しておくれ」
女「長まりました、今日はお寒うございますね」
○「山は雪だんべえ」
女「相かはらず親分は冗談ばかりおつしやつて」
と女中は笑ひながら立つて行く、今こゝへ来たこの客は芝の濱松町にある南北町奉行の御用聞き三河屋庄七、自分の留吉に勘八を連れて松田へ来たは赤羽橋でヒユースケンが殺された一件について、殺した二人は増上寺の境内にのめられたと聞きそのあとを追つてこゝまで来た、稼業柄として二人は途中で時刻を延ばして高飛びをするであらう、この時刻を延ばすところは食物屋であらうとかう考へて松田に來た、そんなことは知らず女中は三郎の許へ三ッ物でお酒を持つて來た。それから庄七のところへも酒を相手し飲んでゐる、三島三郎も手酌で酒を飲みながらこれから先何うしたものかとそれらを考へてゐる、それ故酒を飲めばとて更に酔はぬ、他の客は赤羽橋で異人の殺された話をして殺したものは水戸の浪人だらうなどといつて居ます、三郎は食事も終り、

三「姐さん、勘定をしておくれ」
女「ハイたゞ今」とおとりて行つたが付を持つて來て女「お粗末様でございますました」
三「これで取つておくれ」
一分銀を出した、女中に釣を持つてくるそれを受つた三郎は膝元に置いた脇差を取つて腰にさしたが、そいつをチラリと見た庄七「留や、あいつはガタだぜ」
といつたがガタとは武士のことです
留「さうですね、おかしな奴です」
庄「つけて行け、おい、お竹さん勘定に借て行くよ帳場へさういつてくん」とかういつてズいと三人をこを立つた。

福島縣中町二丁目
處方調劑 一般藥品 堀藥局
醫療器械 藥劑士 堀 功
電話 三二六番

宮川理容所
平 驛 前

袋屋果實店
平町四丁目
電話 一一一番

藤浪電氣工業所
平白銀町
電話 五八一番

福島縣 町村長會 石城支會

石城郡内 各學校長會

石城郡銀行組合

平藝妓屋組合

平料理屋組合

平砂糖商組合

平町西洋料理屋組合

平用品商組合

平材木商業組合

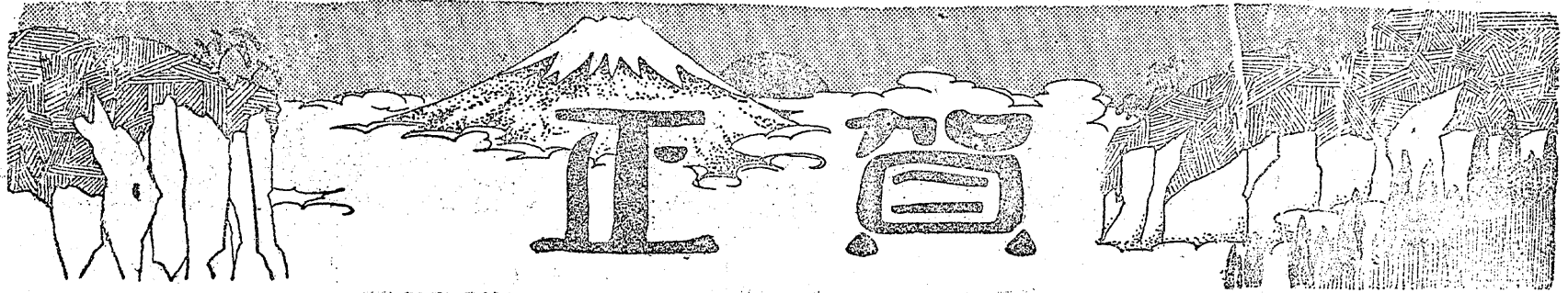
平寫眞師組合

平時計商組合

平三業保健組合

福島縣第二區 凍氷仲買人組合

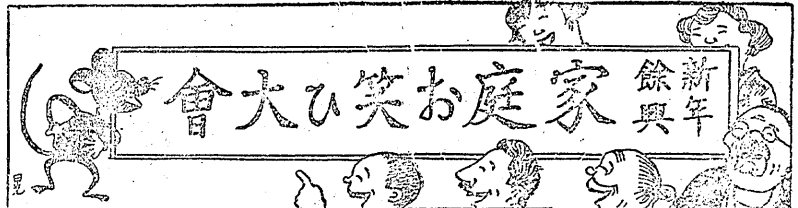
凍氷仲買人組合



植田町長
古川 傳一

縣會議員
蓮 沼 龍 輔
縣會議員
小 野 晋 平
縣會議員
關 内 正 一

貴族院議員
金 成 通
衆議院議員
比 佐 昌 平
衆議院議員
佐 藤 庄 太 郎
衆議院議員
鈴 木 辰 三 郎



開會の辭
皆さん、明けましてお
喜出度うございます。今
年は子の年でございませ
う。年の端に元氣よくハ
木遣はりますやう、先づ
こゝに御笑ひ大會を開催
致します。老翁男女を不
問、大いに笑ひのめさん
と振舞さるゝ同志の方々
は、イザンこれへお出
で下されませ。(祝事)

川口
鼠づくし
落してある間も、おぼろ
げにしがらみとは知らず
らす
おぼろのを止めて、おぼ
ろと向き
自惚したやうな眼が、

澤村室内遊戯
バナ、仕合
先づバナ、二本と手紙
二本を用意して下さい。
バナ、がなければ何で
見當てて行くのですか
ら。バナ、を持ってくる
見當てて行くのですか
ら。バナ、を持ってくる
見當てて行くのですか
ら。バナ、を持ってくる

平町カローリ會
(イロハ順)
星眼科醫院
大和田醫院
大森醫院
大河内醫院
金成醫院
吉田眼科醫院
根本醫院
山内醫院
矢吹醫院
松村醫院
藤沼醫院
酒井醫院
志賀醫院
白土醫院
鈴木眼科醫院



珍法律
難問集
これはナンセンス國に
起つた事件です。難問
官も難問士も法の適用に
迷つてゐる有様。一つ
さん官を降して、然る
べく判決を下して下さい。
い。
◇真摯で前を詰めた場合
真摯もやはり難問と見な
すべきや？
◇男の魂を奪ひし女は
難問に該当するや？
◇菓子のカムフラとカス
テラとの間に何等かの
難問は隠れてゐる、中々口
へは入らぬ眞に難問百出
たる此合、飛行と見なす
べきや？

滑稽
洒落問答
問「お父さん、何處へ出
来ますか？」
答「アチ(彼方)です」
問「お父さん、何處へ出
来ますか？」
答「アチ(彼方)です」
問「お父さん、何處へ出
来ますか？」
答「アチ(彼方)です」

平 商 友 會
會長 室橋 光
副會長 比佐 三郎

平商業 職員一同

ますや 雜貨店
平町長橋町電話一七四番

増尾木工所
建築 材木業
製材 **友**
平中町三番電話三四四番

小野園次郎
最上醬油醸造元
平町長橋町電話二五一番

平古物商組合
組合長 武藤治郎三郎
副組合長 近藤繁治

同 小山貞吉
同 清野次郎
同 佐藤利作
同 鈴木儀十
同 渡邊貞吉
同 淺野孝治
同 横田平藏
同 大竹喜三
同 重井好三
同 渡邊善吉
同 渡邊直吉
同 鈴木喜作
同 藁谷才之助
同 中村膳善
同 水野喜三
同 降矢由春

關 平 支 店
日本石油株式會社代理店
電話 平町六一番

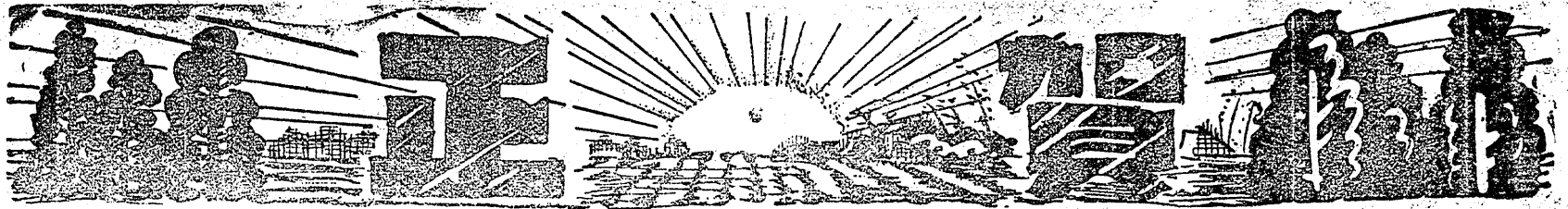
平 館
日活映畫
電話 四六六番

コンパル
洋食・喫茶・宴会
電話 六六六番

伊勢屋
電話 四四五番

柏屋染物店
阿部 傳木町

松屋菓子舖
平町聚樂館隣



平町長 青沼 鋒太郎

山崎 登

右城郡錦村

銘酒白馬の雪醸造元

松本 徳一

平窪村

阿部政右衛門

平町搔樋小路 電話二三七番

常警毎日印刷株式会社監査役

門傳 清吾

平町紺屋町 電話二四四番

高橋 龜松

佐々木 龍若

平町四軒町 電話二九八番

縣會議員

野崎 滿藏

大浦村村長

木村 清治

安島 重三郎

吉田 五平

平町南町

平土木監督所

所長 小林 清吉

久野 ひさ

平町三丁目 電話二八七番

木澤 常松

平町古鍛冶町

山田 忠太郎

平町三丁目 電話四五七番

櫛田 榮太郎

矢野 泰次郎

平庶民 金庫

電話四九三番

堀江工業株式會社

專務取締役 鈴木 唯治

松崎 長太郎

平町新

菊地 カクバン 店

平驛前通り 電話六五九番

大床號

石崎理髮所

平町 電話一八八番

星子エンストア!平支部

星藥舖

平三丁目 電話四二九番

平搾乳所

平仲間町九品寺前 電話二六八番

加藤 自轉車店

平長橋町

大塚 製靴具部

店主 大塚鳳三郎 平町電話七七番

藤寅 カマ店

平町一丁目 電話四二二番

閑靜 家族的 旅館 會津館

平驛前 電話六四八番

宗像金物店

平町長橋町

市原商店

平町一丁目 電話二四四番

草野 染物工場

平鎌田 電話三四八番

多田井質店

平町大工町

關内精米所

平長橋町 電話三八九番

強口唯七郎

土木建築請負業 營業所 平町田町 電話二八二番

常警毎日印刷株式會社

取締役 川崎 文治

取締役 佐々木 龍若

取締役 志賀 盛榮

監査役 門傳 清吾

監査役 原 精一

相談役 山崎 清三

相談役 阿部政右衛門

